

令和7年9月18日

主 催：関西道路研究会
舗装調査研究委員会
委員 長 伊藤 謙
共 催：(一財)都市技術センター

講演会の開催について（ご案内）

秋分の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、本委員会では、技術講演会を次のとおり開催することとなりました。
ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：令和7年10月22日(水) 13:30～16:55 [開場 13:10]
2. 場 所：大阪公立大学文化交流センター 第一研修室（ホール）
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600（大阪駅前第2ビル6階）
3. 講演内容：

講演題目	SCB 試験によるひび割れ抵抗性評価への直径 100mm の試験体の適用性に関する検討
発表者	近畿大学 理工学部 社会環境工学科 教授 麓 隆行 氏
概要	劣化したアスファルトを含む再生骨材や変形抵抗性の高い改質アスファルトの利用など、アスファルト混合物の構成が複雑化した。それはひび割れ抵抗性など混合物の性状にも影響すると考えられる。著者らは、日頃の品質管理で活用できる簡易な SCB 試験を検討してきた。本講演では、SCB 試験への直径 100mm の供試体の適用性と試験条件に関する結果を中心に報告する。
講演題目	CO2 低減に寄与する廃プラスチック舗装の開発
発表者	ENEOS 株式会社 中央技術研究所 サステナブル技術研究所 燃料技術グループ 上級研究員 小早川 尚之 氏
概要	カーボンニュートラル社会の実現に向けて、骨材の全量を廃プラスチックとするアスファルト舗装を開発している。本講演では、特に送電線の絶縁体として広く使用されている架橋ポリエチレンを用いたケースについて、開発の経緯や舗装体の特徴、CO2 削減効果、今後の展望などについて説明する。
講演題目	道路陥没対策としての路面補強工法の開発と施工事例
発表者	ジオ・サーチ株式会社 減災事業本部 課長 大野 敦弘 氏
概要	道路陥没の主な要因は、路面下に発生した空洞である。施設の老朽化や自然災害の激甚化・頻発化に伴い、空洞の増加が予想され、対応の合理化が課題である。本講演では、発見された空洞の補修までの応急対策を目的として開発した路面補強工法の概要と、実際に陥没事故を未然に防止した事例など、特徴的な施工事例について紹介する。
講演題目	東京都における低炭素（中温化）アスファルト混合物の実用化に向けた取組
発表者	公益財団法人 東京都道路整備保全公社 道路部 土木技術課 道路環境係 主任 上野 真誉 氏
概要	東京都ではCO ₂ 排出抑制技術として加熱アスファルト混合物の中温化技術に着目し、平成 22 年度から実用化に向けた検討を実施してきた。その結果、令和 4 年度から道路舗装工事において中温化混合物を原則使用として工事を推進している。本稿では、中温化技術を活用した加熱アスファルト混合物の実用化に向けた検討の経緯や今後の見通しなどについて紹介する。

●申込み方法

ご出席を希望される方は、お手数ですが別紙申込み用紙にご記入の上、下記の連絡先までメールにてお送りください。申込み受付は、会場の定員（120名）に達し次第、締切致しますので、申込みの締め切り状況はホームページでご確認ください（参加費：無料）。

なお、受講票等は発行していません。受講（参加）の可否については受講して頂けない場合にのみ、申込み用紙到着後1週間以内にご連絡いたします。

申込期間：令和7年 9月18日(木)より定員になり次第終了
申 込 先：E-mail：m_sugiyama@toadoro.co.jp

東亜道路工業株式会社 関西支社 技術部 杉山（講演会事務局）
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-13-13 TEL 06-6585-7580

※ 講演会の資料は、**関西道路研究会ホームページ**に令和7年10月10日頃掲載いたします。当日の資料配布はいたしませんので、必要の方は、**あらかじめプリントの上、ご持参してください。**

関西道路研究会 URL：<http://kandoken.jp/>

●アクセス

大阪駅前第2ビル アクセスマップ
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600



- JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約3分
- JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車 徒歩約10分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車 徒歩約5分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」下車 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車 徒歩約10分
- 阪神電鉄「梅田駅」下車 徒歩約10分
- 阪急電鉄「梅田駅」下車 徒歩約15分

講演場所：大阪駅前第2ビル 6階
大阪公立大学 文化交流センター 第1研修室（ホール）